



令和7年9月3日

報道関係者 各位

市川市文化国際部長 山影 聡香

第1回永井荷風文学賞・新人賞受賞作発表について

令和7年6月16日付「永井荷風文学賞最終候補作について」の中でもお知らせいたしましたとおり、昨年11月に三田文学会と協力し創設した「永井荷風文学賞」につきまして、この度、記念すべき第1回受賞作を下記の日程で発表いたしますので、ご案内いたします。

記

1. 日時 令和7年9月11日（木） 14時30分～15時30分
2. 場所 市川市役所 第1庁舎1階 ファンクションルーム
3. 出席者
永井荷風文学賞実行委員会 委員長 田中甲（市川市長）
副委員長 荻野アンナ（三田文学会理事長）
永井荷風のご令孫 永井壮一郎 氏
※永井荷風文学賞受賞者も出席予定です。

※永井荷風文学賞とは…

昨年11月に三田文学会と共に創設した文学賞。

文豪 永井荷風は明治末年慶應義塾大学において『三田文學』を創刊し、多くの新進気鋭の作家を世に出した編集者でもあります。また戦後は市川市内に居を構えてその晩年を過ごし、市川市周辺の風物を描いた作品を多く残すなど、市川市と深い縁で結ばれています。

「永井荷風文学賞」は荷風の広範な領域で卓越した業績を称え、その年における最も優れた文芸作品に授与されます。

本文学賞は既刊本を対象とする「永井荷風文学賞」と公募型（小説・評論）の「三田文学新人賞」を継承する「永井荷風新人賞」が併設され、総合的な文学賞としてスタートしました。

【選考委員】（五十音順、敬称略）

永井荷風文学賞…安藤礼二、岡田利規、金原ひとみ、蜂飼耳、松浦寿輝

永井荷風新人賞…いしいしんじ、青来有一、田中和生、持田叙子

資料につきましては、当日配布いたします。

また、授賞式に関しましては、11月24日（月・祝）に予定しており、別途プレスリリースいたします。

以上

【問い合わせ】

文化国際部 文化芸術課長 鈴木 久美子
電話 047-712-8557